



2008 年の開発大臣会合の概要

1. 経緯・目的

- ・ G 8 及び EC から途上国への開発援助を担当する大臣が集まり、その時々の開発分野の重要な諸問題を話し合う会合。
- ・ アフリカ開発や開発途上国の保健問題などが G8 サミットにおいて重要になってきたことを背景に、2002 年（カナダ）からサミットプロセスの中で大臣級で開催。
- ・ 昨年は 3 月に独・ベルリンで開催され（日本からは岩屋副大臣（当時）が出席。）、首脳会議に向け、開発問題の議論を深めるとともに新興経済諸国やアフリカの地域機関との対話が行われた。
- ・ 日本で開発大臣会合が開催されるのは今回が初めて。

（参考）これまでの開催実績

- ・ 2002 年 9 月 26－27 日 （加・ウインザー）
- ・ 2003 年 4 月 23－24 日 （仏・パリ）
- ・ 2005 年 3 月 17－18 日 （英・ダービー）
- ・ 2007 年 3 月 26－27 日 （独・ベルリン）

2. 日程

2008 年 4 月 5 日（土）－6 日（日）

三田会議所（東京）

3. 招待国・機関

G8（欧州委員会を含む）、ブラジル、中、印、インドネシア、マレーシア、メキシコ、韓国、南ア、AU 委員会、ASEAN 事務局、OECD、世銀、UNDP、WHO、UNICEF、UNESCO

4. 議題

- （1）G 8 北海道洞爺湖サミットにおける開発課題（G 8 のみ）
- （2）新興ドナーや民間セクターとの協力を含む「開発のためのパートナーシップの拡大」、
- （3）「気候変動と開発」、
- （4）「『人間の安全保障』とミレニアム開発目標（MDGs）の達成（保健、水、教育を含む）」